

# 公共施設の将来のあり方を定めます

12月8日に委員会が開催され、本町が所有する公共施設などの管理計画策定について説明を受けた。

## 全ての公共施設と道路、橋、上下水道が対象

### 3月に公表

◇公共施設の更新・統廃合・長寿命化など、将来の課題に対処するため策定するもの。パブリックコメントも実施し29年3月に公表。

か常に考えて取り組む。将来、財政破たんを起さないよう計画的に対応しようということ。

### 町民全体で認識する計画に

◇委員 上下水道や施設が修繕時期にきていることを町民全体で認識

### する計画に。

◇当局 将来人口を予測し上下水道の計画を行うが、人口減少により使用量が減り施設維持が難しくなる。財源に配慮しながら取り組むたい。

◇委員 計画策定後、財源や人員が必要となった場合、実際に実施するのか。計画のみか。  
◇当局 施設の更新が必要になった場合、どのような財源を活用する

### 質疑

### 計画倒れにならないのか



全ての施設が対象

# 3年間で80件の空き家が増加

空き家実態調査の結果と今後の取り組みについて説明を受けた。

## 利活用か、適正管理か、除却か

### 空き家調査の結果は

◇8月から9月にかけて空き家実態調査が実施され、空き家件数452件で3年間で80件増加した。

危険性のある空き家が72件確認された。

◇今後、外観調査、立入調査、特定空き家認定と進む。

### 質疑

### 所有者の把握は

◇委員 持ち主不明の物件は把握しているか。

◇当局 所有者の権利調査は危険度が高いところを優先して行いたい。

調査期間は、それぞれの事情により変わってくる。

今年度1件調査を行ったが、約3ヶ月かかった。

### 解体補助は

◇委員 今年度実施した自主防災組織への解体補助は今後も行うのか。

◇当局 今回は緊急に対応する必要があり実施した。今後は国の特別措置法にしたがい、所有者に対して行う。

その他  
○青少年国際交流事業の実施状況  
○ひがしね保育園の今後の方向性  
などについて説明があった。



## 調査結果

地区	空家数	危険空家数
蚕桑	97件	15件
鮎貝	91件	17件
荒砥	110件	15件
十王	22件	3件
鷹山	73件	13件
東根	59件	9件
合計	452件	72件